

要約・出典（3年生・11月）

1. ねらい ○要約の仕方と出典の書き方を知り、必要な事柄を情報カードに書くことができるようにする。
2. 準備【児】筆箱・下敷き・国語教科書
【図】情報カード・掲示用カード・はたらく犬の本（児童数）
3. 展開

学 習 の 流 れ	指導のポイントと支援 ☆評価
<p>1. 学習のめあてを知る。</p> <p>2. 要約について確認し、出典について知る。 ・書かれている内容を短くまとめることを要約という。 ・調べるときに使った資料について書くことを「出典を書く」という。 ・出典には資料名、著者名、出版社等を書く。 ・奥付を見て書くとよい。</p> <p>3. 本で調べて情報カードに書く。 ① 情報カードの書き方を知る。</p> <p>② はたらく犬のブックトークを聞き、調べたいことを見つける。</p> <p>③ 知りたい事柄について、本を読んで調べ、情報カードに書く。</p> <p>4. 学習をふり返って、感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館にある本を使って調べ、「はたらく犬の知りカード」を書くことを知らせる。 ・教科書P41を見て、要約について確認する。 ・出典・奥付の意味を知らせ、そのポイントについて説明する。 ・数量を明記する場合には、特に出版年を書くことが重要になることも知らせる。 ・「盲導犬にふさわしい犬はどんな犬か。」という例示の情報カードを見せ、箇条書きの書き方や出典の書き方を具体的に知らせる。 ・情報カードには、本や資料に書かれていることを書き写し、本や資料に書かれていないことや、自分の感想は書かないことを指導する。 ・一人に1冊ずつ本が手に取れるように、人数分以上の本を用意しておく。 ・調べるテーマを決める助けとなるように、学校司書が様々な働く犬についてブックトークを行う。 ・大事な言葉や文が見つけれない児童には、目次や索引を利用する声かけをしたり、一緒に本を読んで必要な所を書き出させたりする。 <p>☆知りたい事柄を調べるために、大事な言葉や文を見つけながら読み、カードに書いている。 (行動観察・カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日調べたことをもとに「はたらく犬もの知りカード」を書くことを確認し、これからの学習に要約・出典を役立てていくように促す。

評価【情報活用能力】要約の仕方や出典の書き方が分かり、大事なことを情報カードに書くことができる。